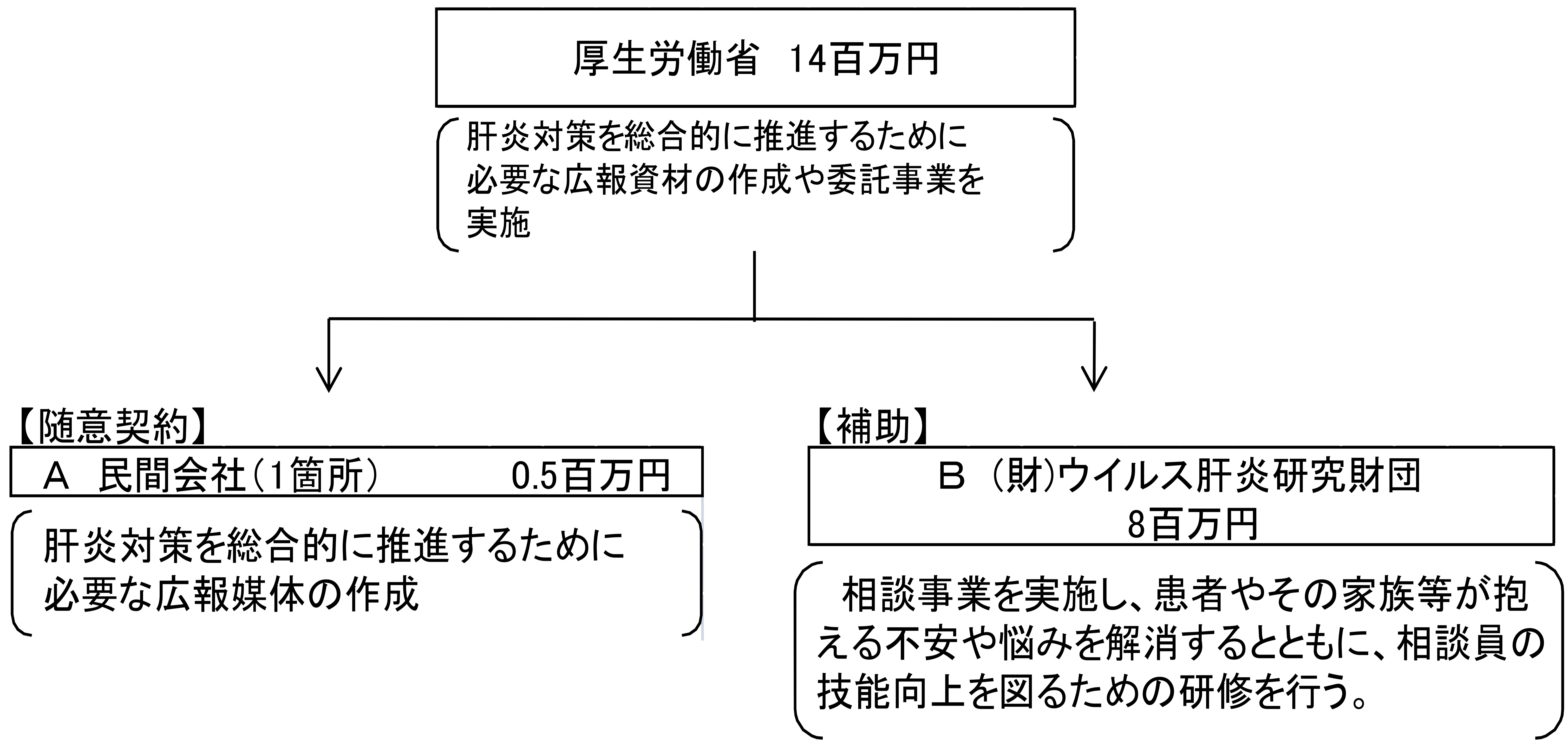


行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	肝炎緊急対策費	担当部局庁	健康局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度	担当課室	疾病対策課肝炎対策推進室	肝炎対策推進室 神ノ田昌博			
会計区分	一般会計	施策名	4-3-4 感染症の発生・まんを延防止する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	肝炎対策基本法 第3条	関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国の肝炎の持続感染者数はB型肝炎・C型肝炎合わせて300万人を超えると推計されており、肝炎から進展する肝硬変・肝がんといったより重篤な病態の約9割が肝炎ウイルスによるものであり、肝炎は国民の健康を脅かす疾患である。このため、平成14年度に実施された「C型肝炎等緊急総合対策」以後、国の役割として、国内の肝炎診療体制の整備、予防・治療・普及啓発等に係る総合的な肝炎対策を推進しているものである。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①肝炎治療戦略会議等の開催 ②普及啓発事業の実施 ③肝炎ウイルス相談事業及び相談員養成研修の実施						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	29	25	20	119	119
		補正予算	26				
		繰越し等					
		計	26	25	20	119	119
	執行額	26	25	14			
執行率(%)	100%	100%	70%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	肝炎対策基本指針に基づき、種々の目標設定に資する調査及び研究を行うこととしており、この成果等を踏まえて検討する予定。	成果実績	-	-	-	-	-
達成度		%	-	-	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	肝炎ウイルスに関する相談件数 (ウイルス肝炎研究財団)	活動実績 (当初見込み)	件	272	537	454	-
250				300	500	500	
単位当たりコスト	(11千円/件)	算出根拠	11千円=5,184千円/454件 (肝炎ウイルスに関する相談事業実績額/相談件数)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	補助金	107	107				
	印刷製本費	9	9				
	その他	3	3				
	計	119	119				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	必要に応じて経費の見直しを行うこととする。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	△	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	×	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出予定額が少額であったため、少額随意契約により支出先を選定した。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成23年度に策定された「肝炎対策基本指針」を踏まえ、今後、一層の推進に向けた取組を行う必要があることから、事業コストにも留意しつつ、1人でも多くの国民に対する制度周知、相談支援、普及啓発等を実施する。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	肝炎緊急対策費については、肝炎対策基本法に基づく必要な事業であるが、執行状況を精査し、優先順位を付けるなど効率化を図ること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
事業実績を踏まえ、単価の見直しを行うとともに、平成23年度で完結する事業を廃止した上で、施策に必要な事業予算を計上するなどの効率化を図った。(反映額: ▲0.1百万円)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入



(※その他:事務費等5.5百万円)

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0.0	計		0
B.ウイルス肝炎研究財団			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
諸謝金	相談員(医師、保健師)、研修会講師	5			
庁費	研修会会場借料、端末保守料等	2			
旅費	研修会講師旅費	1			
計		8	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)インフォ・クリエイツ	ウェブ関連サービス(ホームページの改修)	0.5	随意契約	/
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)ウイルス肝炎研究財団	肝炎ウイルスに関する相談事業等	8	/	/
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					